



とうもろこし軽トラ・マーケット



共生型地域福祉ターミナル
共生型地域オープンサロン

平成 20 年度 当別町 決算

美しいまちづくり、住みよいまちづくりに向けて各種施策、事業を実施しました。各会計決算の詳細をお知らせします。



協働による美しい景観づくり

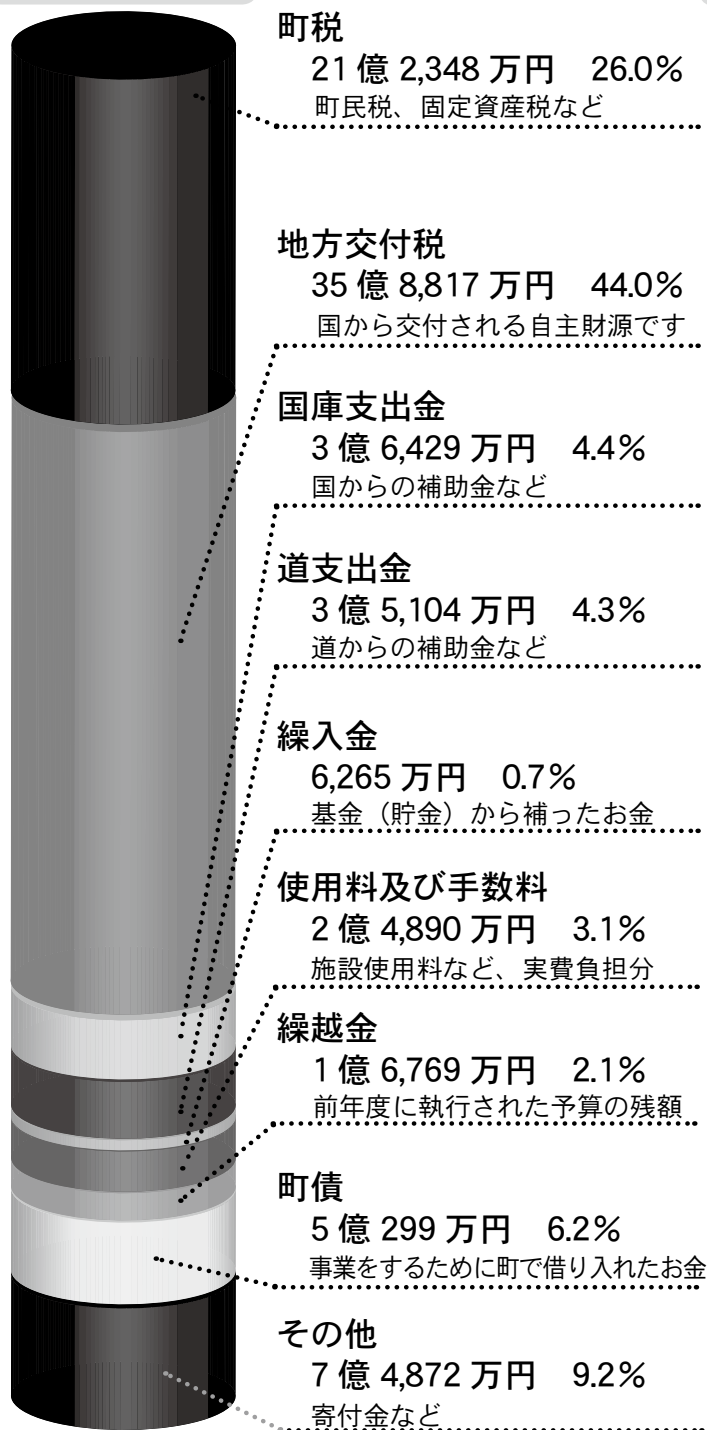
平成 20 年度各会計収支決算額

平成 20 年度は、歳入・歳出とも前年度に比べて決算規模が縮小する中、経費全般にわたり優先度・緊急度を検討するとともに、既存の事業についても見直しを図り、限られた財源の重点的効率的な配分とひっ迫した財政状況の建て直しを念頭において予算の執行に努めました。

..... 一般会計（全国の統計ベースとなる「普通会計」の数値を使用）

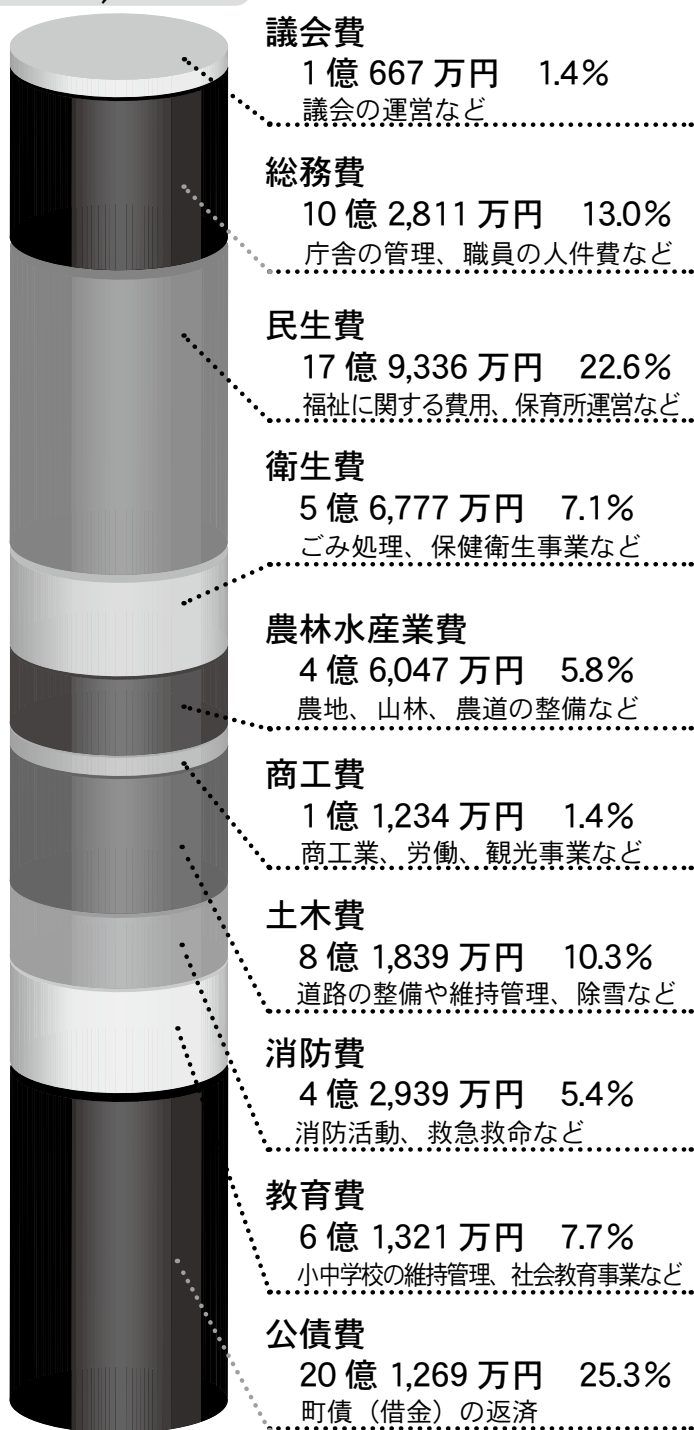
歳入

81 億 5,793 万円



歳出

79 億 4,240 万円



…………… 特別会計 ……………

(単位：万円)

会計名	歳入	歳出	実質収支額
国民健康保険	21億 1,226	21億 6,760	▲ 5,534
老人保健	2億 4,416	2億 1,442	2,974
介護保険	10億 4,886	9億 9,882	5,004
介護サービス	5,925	5,769	156
農業集落排水	1億 1,944	1億 1,772	172
下水道	11億 5,246	11億 4,189	1,057
後期高齢者医療	1億 4,913	1億 4,571	342

※下水道事業特別会計には、一部普通会計に含めるものがあるため、決算書の数値とは異なります。

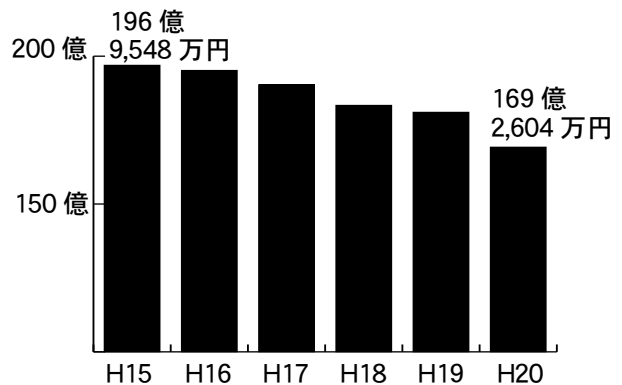
…………… 水道事業会計 ……………

(単位：万円)

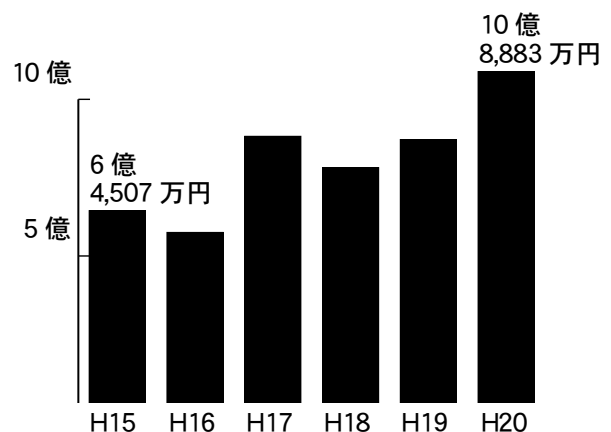
区分	歳入	歳出
収益的収支	4億 1,978	3億 9,018
資本的収支	3億 9,371	5億 2,412



…………… 町債務残高の推移 ……………



…………… 基金残高の推移 ……………



…………… 平成 20 年度に取り組んだ主な事業 ……………

◆当別町第 5 次総合計画策定事業
4,214,000 円

今年度を始期とする町の新しい総合計画の策定に向けて、まちづくり町民検討会議による意見交換会、パブリックコメント、住民説明会などを実施しました。

完成した計画書は、町民保存版として町広報誌に織り込み、町内全戸に配布しました。

◆農地・水・環境保全向上対策事業
55,308,000 円

美しい農村環境づくりを目指して、農地、農業用水の資源の保全や農村環境の質的向上を図る地域共同活動を推進しました。



◆特定健康診査及び特定保健指導事業
24,291,000 円

糖尿病等生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的とし、当別町国保の 40～74 歳の加入者に特定健康診査健診を実施しました。また、特定健康診査結果から、メタボリックシンドロームに着目し、特定保健指導対象者を抽出し、保健指導を実施しました。

◆排雪費支援対策事業
6,142,000 円

当別町と当別町雪対策協議会が協力して排雪区域の生活道路の排雪を実施し、費用の 2 分の 1 を当別町雪対策協議会に補助しました。



健全な財政運営に向けた取り組み

財政健全化法に基づく健全化比率

国では、自治体が破綻して住民生活に支障が出ないように早期に発見し、財政健全化に向けて取り組みを進めようと自治体の財政状況を判断する4つの指標の公表を義務付けた「財政健全化法」を制定し、市町村では平成19年度決算から公表されています。

この法律では、自主的な改善努力を図る早期健全化団体、国の指導下に置かれ、自治体が行う事業を厳しく制限する財政再生団体の2つの数値基準が設けられ、4つの指標をもとに自治体の財政規律をチェックすることとなっています。

①実質赤字比率 一般会計の単年度内の収支、赤字・黒字の比率

	国の基準	当別の基準	H20決算による当別町の比率
早期健全化基準	11.25～15%	14.38%	—
財政再生基準	20%		

実質赤字比率の数値は、平成20年度決算では、1億6,461万円の黒字のため、該当ありません。

当別町の基準額では、赤字額8億8,458万円になると早期健全化団体に、赤字額12億3,029万円で再生団体にそれぞれ該当します。

②連結実質赤字比率 全ての会計の単年度内の収支、赤字・黒字の比率

	国の基準	当別の基準	H20決算による当別町の比率
早期健全化基準	16.25～20%	19.38%	—
財政再生基準	40%		

連結実質赤字比率の数値は、平成20年度決算では、5億822万円の黒字であるため、該当ありません。

当別町の基準額では、赤字額11億9,215万円になると早期健全化団体に、赤字額24億6,058万円で再生団体にそれぞれ該当します。



③実質公債費比率 自治体の借金返済に係る比率

	国の基準	H20決算による当別町の比率
早期健全化基準	25%	22.3%
財政再生基準	35%	

実質公債費比率は、22.3%（昨年より0.1ポイント増）で全道ワースト22位（前年度は32位）となっています。

平成20年度 22.0%
平成19年度 22.9%
平成18年度 22.0%

3か年平均 22.3%

④将来負担比率 自治体の負担として将来必要になる額の比率

	国の基準	H20決算による当別町の比率
早期健全化基準	350%	225.1%
財政再生基準	—	

将来負担比率は225.1%となり全道ワースト9位（前年と同じ）となっています。

……当別町財政運営計画を策定……

本町は、行財政システム再構築プランの着実な取り組みにより財政健全化が図られた結果、国が定めた4つの健全化判断比率による早期健全化団体には該当していません。

しかしながら、4つの指標のうち、実質公債費比率と将来負担比率は高い比率になっており、行財政システム再構築プランの取り組みを継続することが必要であると考え、平成21年度から平成25までの取り組みを定めた「当別町財政運営計画」を策定しました。

そこでは、次のような目標を定めています。

	平成20年度	平成25年度
実質公債費比率	22.3%	18%以下
将来負担比率	225.1%	200%以下
地方債残高	169億円	130億円以下
財政調整基金残高	3.7億円	5.1億円以上

財政運営計画では、内部管理経費の縮減など計画的に財政運営を進め、持続可能な安定した財政基盤の確立を図り、町民の皆様へ安定した行政サービスを提供できるように取り組みを進めます。

▼担当 財政課財政係 ☎23-2331